

■馬場 拓也(ばば たくや)

社会福祉法人愛川舜寿会 理事長

1976年神奈川県生まれ。

大学卒業後、外資系アパレル企業を経て、2010年に2代目経営者として現法人に参画。特養の庭を地域開放した「ミノワ座ガーデン」、市民の語り場「あいかわ暮らすラボ」を運営。

2019年に障がいのあるなしによらず共に育ち合うインクルーシブ保育園「カミヤト凸凹保育園plus」を開園。

2022年には地域共生文化拠点「春日台センターセンター」、洗濯デリバリーサービス「洗濯文化研究所」を開設し、「2023日本建築学会賞(作品)」、「グッドデザイン金賞」を受賞。

著書「介護業界の人材獲得戦略(幻冬舎)」

共著「わたしの身体はままならない(河出書房新社)」「壁を壊すケア(岩波書店)」など。



<春日台センターセンター>

「春日台センター」というスーパーの跡地にできた地域福祉の拠点。

高齢者施設やデイサービス拠点のみならず、障がいのある子供のデイサービス利用や障がいのある人が働く場、子供が通う寺子屋、コインランドリーやコロッケ屋さん、貸し室が併設された複合施設。

■重松 恵梨子(しげまつ えりこ)

佐賀市のミニシアター『シアター・シエマ』で2007年の開業時から2023年まで16年間支配人をつとめる。シエマ在任中には、劇場のデジタル化、ユニバーサルデザイン化の募金活動を実施。

2018年には、バリアフリー映画をつくることを目的とした『みないろ会』の立ち上げに関わる。現在は鹿島市浜町を拠点に、映画を通じた地域作りをコンセプトに活動中。

『チームぬか床』として、発酵ワークショップを開催するなど、映画上映会以外にも活動の幅を広げている。2008年から朝日新聞の映画コラム『シネマパラダイス』を連載(隔週土曜日掲載)。2024年よりサガテレビ『カチカチLIVE』のコメンテーターをつとめている(隔週水曜日出演)。

